

東山聖苑改修工事（建築） 設計図

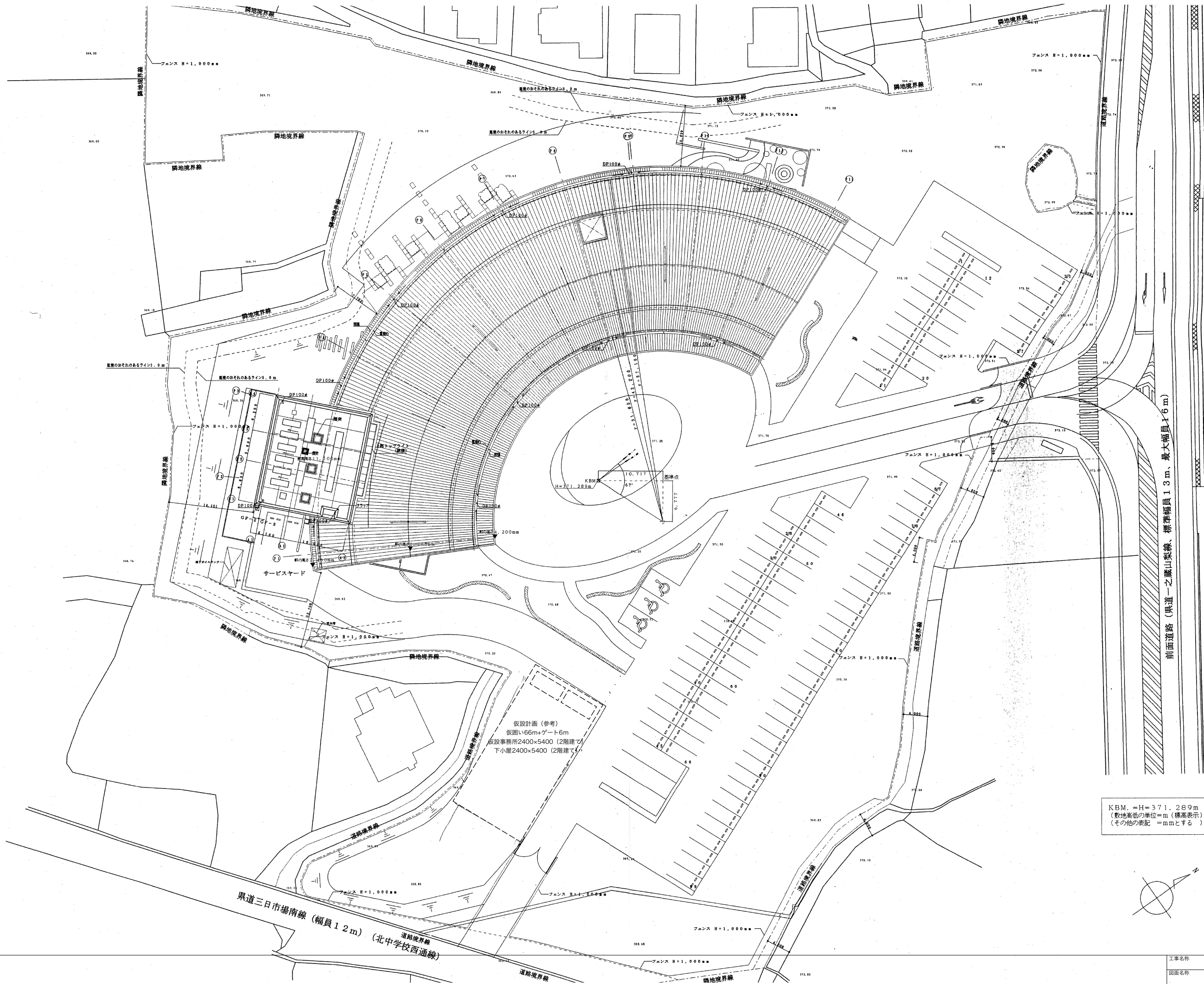
図面リスト

図面NO	図面名称
01	特記仕様書1
02	特記仕様書2
03	特記仕様書3
04	配置図
05	仕上表、外部建具リスト
06	平面図
07	立面図
08	断面展開図
09	矩計図
10	構造詳細図
11	天井伏図
12	屋根伏図
13	部分詳細図
14	外部受付棟立面図

東山聖苑改修工事（建築）仕様書		⑩完成図（施工図及び施工計画書を除く）	種類、記入内容 ※共仕表1.7.1による (1.7.2)(表1.7.1)	2 仮設工事	1 監督職員事務所 ※設ける 規模 ・ 1号 ・ 2号 ・ 3号 ・ 4号 ・ 5号 ・ 請負者事務所の一部に設置 (2.3.1)(表2.3.1)	4 鉄筋かぶり厚さ	※かぶり厚さは目地底から算定する ・耐久性上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。 (5.3.6)																																																																																		
工事概要 1 工事場所 山梨市小原西562 東山聖苑 2 敷地面積 17067.10㎡ 3 工事種目 (1) 仮設工事 (7) コンクリート・押出セト板工事 (13) 金属工事 (2) 土工 (8) 防水工事 (14) 左官工事 (3) 地業工事 (9) 石工事 (15) 建具工事 (4) 鉄筋工事 (10) タイル工事 (16) 塗装工事 (5) コンクリート工事 (11) 木工 (17) 内装工事 (6) 鉄骨工事 (12) 屋根及び植工事 (18) ユニット及びその他工事 4 建物概要 (1) 用途 : 葬祭場、火葬場 (2) 構造 : 鉄筋鉄骨コンクリート造、鉄骨造 (3) 規模 : 2階建て、延べ床面積2062.03㎡		⑪施工図及び施工計画書	完成図の作成方法、原図のサイズ (1.7.2) ※原図は線付トレーシングペーパーに鉛筆書き、寸法、縮尺等は設計図書に準ずる。 ・CADにより作図したものは、データも併せて提出する。 ・CADデータ貸与 ※有)	2 仮設工事 2 監督職員事務所 ③工事用水 ④工事用電力 ⑤仮設計画	③工事用水 ④工事用電力 ⑤仮設計画	4 鉄筋かぶり厚さ 5 既製コンクリート杭の杭頭補強 6 鉄筋 7 重畳柱頭補強 8 梁貫通孔の補強 9 機械吊上げ用フック 10 圧接完了後の試験	※かぶり厚さは目地底から算定する ・耐久性上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。 (5.3.6) 施工箇所等・・・・・・ 表5.3.5の値に加える数字 (mm) 柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打ち直し面 ※10 ・A形 ・B形 ・H形 (別2.2) ※行方 ・行わない (別2.1) ・H形 ・MH形 ・M形 (別7.1) ・建設技術評価制度「鉄筋コンクリート造の梁貫通補強材の開発」において評価を取得したものの、又は、(財)日本建築センターの評価を受けたもの ・A種 ・B種 ・C種 (別7.3) ※超音波探傷試験 ・引張試験 (5.4.9)																																																																																		
建築工事仕様 1 共通仕様 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）最新版による。 2 特記仕様 (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。 (3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、共仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。		⑫完成写真	施工図について (1.2.3) ※監督職員の指示する工事種目について作成提出し、承諾を受ける。 施工図の記載内容及び記載水準は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築・設備工事施工図の描き方（最新版）」に準ずるものとする。 提出部数は、施工図の原図及びその複写図（1部）とする。ただし、製作図等で原図として提出が出来ないものは、原図に代わるものとしてよい。 本工事に係る施工図及び施工計画書の著作権者の権利は、当該建物における使用に限り、発注者に委譲するものとする。 施工計画書について (1.2.2) ※共仕のほか、監督職員の指示する工事種目について作成提出し、承諾を受ける。 共仕に定めるもの他、以下の項目について施工計画書に記入する。 ・環境対策 ・再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法	3 土工	1 埋戻し及び盛土 (3.2.3)(表3.2.1) 2 建設発生土の処理 (3.2.5)	6 コンクリート工事	1 コンクリートの強度 普通コンクリートの設計基準強度 (6.1.4) 設計基準強度Fe (kg/cm ²) [N/mm ²] 適用範囲・・・・・・ ※210 [21] 基礎・基礎梁 330 (33) ※180 (18) 土間・捨てコンクリート 160 (16) 軽量コンクリートの設計基準強度 (6.1.4) 設計基準強度Fe (kg/cm ²) [N/mm ²] 適用範囲・・・・・・ 210 [21] 2 レディーミクストコンクリートの種別 ※I類 ・監類 (6.1.5)(表6.1.1) 3 セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 (6.3.2)(6.13.2)(6.16.2)(表6.3.1) 上記普通ポルトランドセメントは、JIS R5210（ポルトランドセメント）に示された規定の他、次の規定に適合するものとする。 水和熱は7日目で84cal/g以下、29日目で96cal/g以下とする。 ・高炉セメントのB種																																																																																		
1 一般共通事項 ①適用基準等 ・建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（最新版） 2 工事実績情報の登録 ※適用する ・適用しない (1.1.4) ③発生材の処理等 ・引渡しを要するもの ・特別管理産業廃棄物 処理方法 (1.1.13) ・現場において再利用を図るもの ・再生資源化を図るもの ・コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生材 受入施設名 受入場所 仮置場所 ・その他再生資源化を図るもの 受入施設名 受入場所 仮置場所 4 電気保安技術者 ※適用する (1.3.3) 5 施工条件 ・共仕による他土曜日も工事を施工しない。 (1.3.5) ⑥建築材料等 本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 なお、「評価名簿による」と特記されたものについては、建設大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（最新版）」による。但し、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 ⑦特別な材料の工法 建築工事共通仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 (1.5.2) 8 技能士 <table border="1"> <thead> <tr> <th>技能検定の職種</th> <th>作業の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>鉄筋工事（鉄筋施工）</td><td>※全て</td></tr> <tr><td>コンクリート工事（左官・型枠施工）</td><td>※全て</td></tr> <tr><td>鉄骨工事（とび）</td><td>※全て</td></tr> <tr><td>ブロック・ALCパネル工事・PCカーテンウォール工事（ブロック建築・ALCパネル工事・PCカーテンウォール工事）</td><td>※全て</td></tr> <tr><td>防水工事（防水施工）</td><td>※全て</td></tr> <tr><td>石工事（石材施工）</td><td>※全て</td></tr> <tr><td>タイル工事（タイル張り）</td><td>※全て</td></tr> <tr><td>木工事（建築大工）</td><td>※全て</td></tr> <tr><td>屋根・とい工事（建築板金・スレート施工）</td><td>※全て</td></tr> <tr><td>金属工事（内装仕上げ施工（鋼製下地））</td><td>※全て</td></tr> <tr><td>左官工事（左官）</td><td>※全て</td></tr> <tr><td>建具工事（サッシ施工・ガラス施工）</td><td>※全て</td></tr> <tr><td>塗装工事（塗装）</td><td>※全て</td></tr> <tr><td>内装工事（内装仕上げ施工（床・天井仕上げ等）・表装）</td><td>※全て</td></tr> <tr><td>植栽工事（造園）</td><td>※全て</td></tr> </tbody> </table> ⑨完成時の提出図書 ・完成図（施工図、施工計画書を除く） (1.7.1)(1.7.3) ・完成図CADデータ（CD） ・施工図及び施工計画書 ・保全に関する資料（提出部数 ・ 1部 ・ 2部）		技能検定の職種	作業の種類	鉄筋工事（鉄筋施工）	※全て	コンクリート工事（左官・型枠施工）	※全て	鉄骨工事（とび）	※全て	ブロック・ALCパネル工事・PCカーテンウォール工事（ブロック建築・ALCパネル工事・PCカーテンウォール工事）	※全て	防水工事（防水施工）	※全て	石工事（石材施工）	※全て	タイル工事（タイル張り）	※全て	木工事（建築大工）	※全て	屋根・とい工事（建築板金・スレート施工）	※全て	金属工事（内装仕上げ施工（鋼製下地））	※全て	左官工事（左官）	※全て	建具工事（サッシ施工・ガラス施工）	※全て	塗装工事（塗装）	※全て	内装工事（内装仕上げ施工（床・天井仕上げ等）・表装）	※全て	植栽工事（造園）	※全て	3 土工 4 地業工事 1 既成コンクリート杭地業 (4.3.1)(表4.3.2) ※高強度プレストレスコンクリート杭（※評価品 ・ JIS規格品） 寸法及び継手 (4.3.1)(表4.3.2) <table border="1"> <thead> <tr> <th>杭径 (mm)</th> <th>杭長 (m) 及び種類</th> <th>継手数</th> <th>セット数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>試験杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>本杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> 杭箇の切断方法 ※ダイヤモンドカッター (4.3.7) 先端部形状 ※開放形 ・閉そく平たん形 (4.3.2) 施工法 (4.3.3)(4.3.4)(4.3.5) ※建築基準法第38条の規定に基づく、建設大臣の認定を受けた工法 ・フルボーリング根固め工法 ・中盛り拡大根固め工法 ・HYPER-MEGA工法(構造用による) ・打込み工法 杭打機の種類 ※3点支持式クローラクレーン 2 場所打ちコンクリート杭地業 (4.5.3) 鉄筋の種類及び記号 5章鉄筋工事の鉄筋の種類による (4.5.3) コンクリートの種類 ・A種 ・B種 (4.5.3)(表4.5.1) 設計基準強度 (210) kg/cm ² [N/mm ²] (4.5.4)(4.5.5) 振削工法 (4.5.4)(4.5.5) ・アースドリル工法 (安注液 ・使用する ・使用しない) ・リバース工法 ・オルケーシング工法 (孔内の水漲 ※行方 ・行わない) ※全周回転式 ・(財)日本建築センターにより評価された工法 支持地盤 ・N=50の玄武岩質頁岩 (4.5.4) 試験杭 杭の本数 ※最初一本 杭の種類 ※本杭と同じ 杭の寸法 長さ(m) 断面寸法 ※本杭と同じ 3 平板荷重試験 (4.2.4) 試験位置 (1ヶ所) ・渡り廊下棟 (監督職員と協議の上、決定する) 試験深さ (m) ・各掘削底面 試験対象土質 ・火山砂 最大荷重 ・2.2KN以上 ・6KN以上 4 砂利地業 (4.6.3) ※再生クラッシュラン ・切込み砂利及び切込み砕石 5 床下防湿層 (4.6.6) 施工箇所 ※建物内土間床版及び土間コンクリート下 (地下ピット、EVピット、ヒロテ部を除く)	杭径 (mm)	杭長 (m) 及び種類	継手数	セット数	備考	試験杭					本杭					6 コンクリート工事 1 既成コンクリート杭地業 (4.3.1)(表4.3.2) ※高強度プレストレスコンクリート杭（※評価品 ・ JIS規格品） 寸法及び継手 (4.3.1)(表4.3.2) <table border="1"> <thead> <tr> <th>杭径 (mm)</th> <th>杭長 (m) 及び種類</th> <th>継手数</th> <th>セット数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>試験杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>本杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> 杭箇の切断方法 ※ダイヤモンドカッター (4.3.7) 先端部形状 ※開放形 ・閉そく平たん形 (4.3.2) 施工法 (4.3.3)(4.3.4)(4.3.5) ※建築基準法第38条の規定に基づく、建設大臣の認定を受けた工法 ・フルボーリング根固め工法 ・中盛り拡大根固め工法 ・HYPER-MEGA工法(構造用による) ・打込み工法 杭打機の種類 ※3点支持式クローラクレーン 2 場所打ちコンクリート杭地業 (4.5.3) 鉄筋の種類及び記号 5章鉄筋工事の鉄筋の種類による (4.5.3) コンクリートの種類 ・A種 ・B種 (4.5.3)(表4.5.1) 設計基準強度 (210) kg/cm ² [N/mm ²] (4.5.4)(4.5.5) 振削工法 (4.5.4)(4.5.5) ・アースドリル工法 (安注液 ・使用する ・使用しない) ・リバース工法 ・オルケーシング工法 (孔内の水漲 ※行方 ・行わない) ※全周回転式 ・(財)日本建築センターにより評価された工法 支持地盤 ・N=50の玄武岩質頁岩 (4.5.4) 試験杭 杭の本数 ※最初一本 杭の種類 ※本杭と同じ 杭の寸法 長さ(m) 断面寸法 ※本杭と同じ 3 平板荷重試験 (4.2.4) 試験位置 (1ヶ所) ・渡り廊下棟 (監督職員と協議の上、決定する) 試験深さ (m) ・各掘削底面 試験対象土質 ・火山砂 最大荷重 ・2.2KN以上 ・6KN以上 4 砂利地業 (4.6.3) ※再生クラッシュラン ・切込み砂利及び切込み砕石 5 床下防湿層 (4.6.6) 施工箇所 ※建物内土間床版及び土間コンクリート下 (地下ピット、EVピット、ヒロテ部を除く)	杭径 (mm)	杭長 (m) 及び種類	継手数	セット数	備考	試験杭					本杭					4 骨材 (6.3.3) 砂利及び砂のアルカリシリカ反応性による区分 (JIS A5308) ※A ・B 碎石 (JIS A5004) 及び砕砂 (JIS A5005) のアルカリシリカ反応性による区分 (6.3.3) ※A ・B 細骨材の塩分含有量 (%) ※0.04以下 5 混和材料 (6.3.5)(6.4.8) ※混和剤 ※A E剤又はA E減水剤標準形、高性能A E減水剤標準形 (JIS A6204) ・躯体防水剤 ・混和材 ※フライアッシュ (JIS A6201) 6 軽量コンクリート (6.11.1)(表6.11.1) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>所要気乾単位容積質量 (t/m³)</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1種</td><td>1.7</td><td>冷蔵庫床部分</td></tr> </tbody> </table> 7 無筋コンクリート (6.14.2)(6.14.3) ※粗骨材の最大寸法 25 (mm) (均しコンクリート及び防水押えコンクリートの場合) 適用箇所 (6.14.1) ※6.14.1による <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>スランプ (cm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>普通コンクリート</td><td>15</td><td>均しコンクリート</td></tr> <tr><td>軽量コンクリート</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> 8 コンクリートの仕上がり (6.2.5)(表6.2.2) ・部材の位置及び断面寸法の許容差 ・表6.2.2による ・許容差 適用箇所 ・仕上りの平たんさ ・6.2.5(b)による ・平たんさ 適用箇所 9 打放し仕上げの種類 (6.2.5)(6.6.7)(6.9.3)(表6.2.3) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>・A種</td><td>化粧壁面</td></tr> <tr><td>・B種</td><td>吹付面全般、機械室内壁など打放し仕上面</td></tr> <tr><td>・C種</td><td>モルタル塗面全般</td></tr> </tbody> </table> 10 床型枠用鋼製デッキプレート ・建設技術評価「鉄筋コンクリート建築物等における床型枠用鋼製デッキプレートの開発」において評価を取得したものの 使用箇所・・・・・・ 厚さ (mm) 備考・・・・・・	種別	所要気乾単位容積質量 (t/m ³)	適用箇所	1種	1.7	冷蔵庫床部分	種類	スランプ (cm)	施工箇所	普通コンクリート	15	均しコンクリート	軽量コンクリート			種類	施工箇所	・A種	化粧壁面	・B種	吹付面全般、機械室内壁など打放し仕上面	・C種	モルタル塗面全般
技能検定の職種	作業の種類																																																																																								
鉄筋工事（鉄筋施工）	※全て																																																																																								
コンクリート工事（左官・型枠施工）	※全て																																																																																								
鉄骨工事（とび）	※全て																																																																																								
ブロック・ALCパネル工事・PCカーテンウォール工事（ブロック建築・ALCパネル工事・PCカーテンウォール工事）	※全て																																																																																								
防水工事（防水施工）	※全て																																																																																								
石工事（石材施工）	※全て																																																																																								
タイル工事（タイル張り）	※全て																																																																																								
木工事（建築大工）	※全て																																																																																								
屋根・とい工事（建築板金・スレート施工）	※全て																																																																																								
金属工事（内装仕上げ施工（鋼製下地））	※全て																																																																																								
左官工事（左官）	※全て																																																																																								
建具工事（サッシ施工・ガラス施工）	※全て																																																																																								
塗装工事（塗装）	※全て																																																																																								
内装工事（内装仕上げ施工（床・天井仕上げ等）・表装）	※全て																																																																																								
植栽工事（造園）	※全て																																																																																								
杭径 (mm)	杭長 (m) 及び種類	継手数	セット数	備考																																																																																					
試験杭																																																																																									
本杭																																																																																									
杭径 (mm)	杭長 (m) 及び種類	継手数	セット数	備考																																																																																					
試験杭																																																																																									
本杭																																																																																									
種別	所要気乾単位容積質量 (t/m ³)	適用箇所																																																																																							
1種	1.7	冷蔵庫床部分																																																																																							
種類	スランプ (cm)	施工箇所																																																																																							
普通コンクリート	15	均しコンクリート																																																																																							
軽量コンクリート																																																																																									
種類	施工箇所																																																																																								
・A種	化粧壁面																																																																																								
・B種	吹付面全般、機械室内壁など打放し仕上面																																																																																								
・C種	モルタル塗面全般																																																																																								
20 設計GL ※設計GL=現況GL		20 設計GL	※設計GL=現況GL	5 鉄筋工事	1 鉄筋の種類 (5.2.1)(表5.2.1) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>径 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>※SD295A</td><td>D10~D16</td></tr> <tr><td>※SD345</td><td>D19~D25</td></tr> </tbody> </table> 2 溶接金網 (5.2.2) <table border="1"> <thead> <tr> <th>網目の形状、寸法</th> <th>鉄線の径</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>150×150</td><td>5.0φ / 6.0φ</td></tr> </tbody> </table> 3 鉄筋継手 (5.3.4) <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>接合方法</th> <th>径 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>柱・梁の主筋</td><td>※重ね継手</td><td>D19以上</td></tr> <tr><td>その他</td><td>※重ね継手</td><td>D16以下</td></tr> </tbody> </table>	種類の記号	径 (mm)	※SD295A	D10~D16	※SD345	D19~D25	網目の形状、寸法	鉄線の径	150×150	5.0φ / 6.0φ	部位	接合方法	径 (mm)	柱・梁の主筋	※重ね継手	D19以上	その他	※重ね継手	D16以下																																																																	
種類の記号	径 (mm)																																																																																								
※SD295A	D10~D16																																																																																								
※SD345	D19~D25																																																																																								
網目の形状、寸法	鉄線の径																																																																																								
150×150	5.0φ / 6.0φ																																																																																								
部位	接合方法	径 (mm)																																																																																							
柱・梁の主筋	※重ね継手	D19以上																																																																																							
その他	※重ね継手	D16以下																																																																																							

7 鉄骨 工事	1 施工管理技術者	※適用する ・適用しない (7.1.4)	9 防水 工事	1 改質アスファルトシート防水 (9.2.2)	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	2 テラゾ	種類材料	種石の種類及び大きさ	形状による区分	区分による区分	区分による区分	12 木 工事	1 表面仕上げ	程度 ・ A種 ・ B種 ・ C種 (12.1.4)					
	2 鋼材	種類の記号 ・ ・ ・ ・ ・ (7.2.1)(表7.2.1)		1 改質アスファルトシート防水	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・		種類・ ・ ・ ・ ・	2 テラゾ	種石の種類及び大きさ	形状による区分	区分による区分		区分による区分	2 木材	代用樹種を使用しない箇所 (12.2.1)				
	3 高力ボルト	※トルシア形高力ボルト ・ JIS形高力ボルト ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.2.2)		2 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2)~(9.4.4)(表9.4.1)	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・		種類・ ・ ・ ・ ・	3 外壁湿式工法	石材の厚さ	※有効厚さ25以上 (10.4.1)	ドレインパイプの材質		・ステンレス (SUS304) (10.2.3)	石裏面処理	※行う ・行わない (10.3.2)	3 集成材	構造用集成材	※使用しない (12.2.2)	
	4 ターンバックル	胴の種類 ※割弁式 ・ ・ ・ ・ ・ (7.2.6)		断熱材	材質 ・ JIS A9511の押出法ポリスチレンフォーム3種bスキ層付き ・ 現場発泡ウレタン (特定フロンを含まないもの) (9.2.2)	厚さ	・25 ・50 ・30 (9.2.2)	絶縁用シートに使用する材料		・ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 (屋根保護防水工法の場合) ・ フラットヤークロス (70g/m ² 程度) (屋根保護防水断熱工法の場合) (9.2.2)	4 内壁空積工法	石材の厚さ	※有効厚さ20以上 (10.4.1)	裏打ち処理		※行う ・行わない (10.4.2)	下地ごしらえ	・あと施工アンカー工法 ・あと施工アンカー ・横筋流し工法 (10.4.3)	4 床張り用合板	造作用集成材	※使用しない (12.2.2)	
	5 溶接部の試験	超音波探傷試験 ※行う ・行わない (7.6.11)		屋根露出防水絶縁工法の脱気装置	種類・ ・ ・ ・ ・ (9.2.3)(表9.2.10)	設置数量	個/ m ²	・平面部脱気型		・ポリエチレン樹脂 ・ A B S樹脂 ・ ステンレス ・ 銅 (9.2.3)	5 乾式工法	石材の厚さ	※有効厚さ30以上 (10.5.1)	外壁		※有効厚さ25以上 (10.5.2)	内壁	※有効厚さ25以上 (10.5.3)	5 防ぎ処理	○接着剤 (12.2.9)		
	6 錆止め塗料の種類	※表18.3.1による (7.8.2)(7.8.3)		ウレタン系塗膜防水の種類	種類・ ・ ・ ・ ・ (9.5.2)(9.5.3)(9.5.4)	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・		種類・ ・ ・ ・ ・	6 床の石張り	石材の厚さ	・ ・ ・ ・ ・ (10.6.2)	目地幅 (mm)		※8以上 (10.6.2)	目地幅 (mm)	・ ・ ・ ・ ・ (10.6.2)	6 床張り用合板	厚 (mm)	5.5 接着の限度	※1等 ・ 2等 (12.2.3)
	7 耐火被覆	種類 (7.9.2)		ウレタン系塗膜防水 (X-1)の脱気装置	種類・ ・ ・ ・ ・ (9.3.2)	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・		種類・ ・ ・ ・ ・	7 乾式工法	石材の厚さ	・ ・ ・ ・ ・ (10.6.2)	目地幅 (mm)		・ ・ ・ ・ ・ (10.6.2)	目地幅 (mm)	・ ・ ・ ・ ・ (10.6.2)	5 防ぎ処理	○接着剤 (12.2.9)		
	8 アンカーボルトの保持及び埋込み工法	種類 A種 ・ B種 ・ C種 (7.10.3)(表7.10.1)		ウレタン系塗膜防水 (X-1)の脱気装置	種類・ ・ ・ ・ ・ (9.3.2)	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・		種類・ ・ ・ ・ ・	8 乾式工法	石材の厚さ	・ ・ ・ ・ ・ (10.6.2)	目地幅 (mm)		・ ・ ・ ・ ・ (10.6.2)	目地幅 (mm)	・ ・ ・ ・ ・ (10.6.2)	○接着剤 (12.2.9)	○木材保存材 (12.2.9)		
	9 柱底モルタルの工法	種類 ※A種 ・ B種 (7.2.9)(7.10.3)(表7.10.2)		ウレタン系塗膜防水 (X-1)の脱気装置	種類・ ・ ・ ・ ・ (9.3.2)	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・		種類・ ・ ・ ・ ・	9 乾式工法	石材の厚さ	・ ・ ・ ・ ・ (10.6.2)	目地幅 (mm)		・ ・ ・ ・ ・ (10.6.2)	目地幅 (mm)	・ ・ ・ ・ ・ (10.6.2)	○接着剤 (12.2.9)	○木材保存材 (12.2.9)		
	10 鉄骨製作工場	・ 監督職員の承諾する工場 (7.1.3)		ウレタン系塗膜防水 (X-1)の脱気装置	種類・ ・ ・ ・ ・ (9.3.2)	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・		種類・ ・ ・ ・ ・	10 乾式工法	石材の厚さ	・ ・ ・ ・ ・ (10.6.2)	目地幅 (mm)		・ ・ ・ ・ ・ (10.6.2)	目地幅 (mm)	・ ・ ・ ・ ・ (10.6.2)	○接着剤 (12.2.9)	○木材保存材 (12.2.9)		
	11 溶融亜鉛めっき	種類 ※A種 適用箇所 (7.12.3)		ウレタン系塗膜防水 (X-1)の脱気装置	種類・ ・ ・ ・ ・ (9.3.2)	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・		種類・ ・ ・ ・ ・	11 タイル工事	1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地	位置	※共仕表11.1.1による (外壁の場合) (11.1.3)		目地幅 (mm)	・ ・ ・ ・ ・ (11.1.3)	2 陶磁器質タイル	タイルの種類	種類・ ・ ・ ・ ・ (11.2.1)	13 屋根及びびとい工事	1 と い
8 コン クリ ート ブ ロ ッ ク ・ A L C パ ネ ル ・ 押 出 セ メ ン ト 板 工 事	1 補強コンクリートブロック造	ブロックの種類 厚さ (mm) 化粧有りのブロックの適用箇所 (8.2.2)	③塗膜防水	ウレタン系塗膜防水の種類	種類・ ・ ・ ・ ・ (9.5.2)(9.5.3)(9.5.4)	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	2 陶磁器質タイル	タイルの種類	種類・ ・ ・ ・ ・ (11.2.1)	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	14 金属工事	1 ステンレスの表面仕上げ	種類・ ・ ・ ・ ・ (14.2.1)					
	2 コンクリートブロック縦壁及び塀	共仕表8.2.2以外のコンクリートの設計基準強度 kg/cm ² [N/mm ²] (8.2.4)	④シーリング	ウレタン系塗膜防水 (X-1)の脱気装置	種類・ ・ ・ ・ ・ (9.3.2)	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	3 試験張り、見本焼き等	試験張り	・ 行う ※行わない (11.2.1)	見本焼き	・ 行う ※行わない (11.2.1)	2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	種類・ ・ ・ ・ ・ (14.2.2)(表14.2.1)							
	3 ALCパネル	パネルの種類 (8.4.2~8.4.5)(表8.4.2、表8.4.3)	ウレタン系塗膜防水 (X-1)の脱気装置	種類・ ・ ・ ・ ・ (9.3.2)	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	4 試験張り、見本焼き等	試験張り	・ 行う ※行わない (11.2.1)	見本焼き	・ 行う ※行わない (11.2.1)	③亜鉛めっき	表面処理方法	種 別 施工箇所 (手すり、タラップ、建具以外) (14.2.3)(表14.2.1)						
	4 押出成形セメント板	製造所 : 監督職員の承諾する製造所 (8.5.4)	ウレタン系塗膜防水 (X-1)の脱気装置	種類・ ・ ・ ・ ・ (9.3.2)	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	5 試験張り、見本焼き等	試験張り	・ 行う ※行わない (11.2.1)	見本焼き	・ 行う ※行わない (11.2.1)	4 軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 (14.4.2)(表14.4.1)							
			ウレタン系塗膜防水 (X-1)の脱気装置	種類・ ・ ・ ・ ・ (9.3.2)	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	6 試験張り、見本焼き等	試験張り	・ 行う ※行わない (11.2.1)	見本焼き	・ 行う ※行わない (11.2.1)	5 手すり及びタラップ	表面処理方法	種 別 施工箇所 (手すり、タラップ以外) (14.2.3)(表14.2.1)						
			ウレタン系塗膜防水 (X-1)の脱気装置	種類・ ・ ・ ・ ・ (9.3.2)	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	7 試験張り、見本焼き等	試験張り	・ 行う ※行わない (11.2.1)	見本焼き	・ 行う ※行わない (11.2.1)	6 金属成形板張り	種類・ ・ ・ ・ ・ (14.6.1)~(14.6.3)							
			ウレタン系塗膜防水 (X-1)の脱気装置	種類・ ・ ・ ・ ・ (9.3.2)	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	8 試験張り、見本焼き等	試験張り	・ 行う ※行わない (11.2.1)	見本焼き	・ 行う ※行わない (11.2.1)	7 アルミニウム製笠木	部材の種類	・ 300形 ・ 250形 ・ 225形 ・ 200形 (14.7.2)(表14.7.1)						
			ウレタン系塗膜防水 (X-1)の脱気装置	種類・ ・ ・ ・ ・ (9.3.2)	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	9 試験張り、見本焼き等	試験張り	・ 行う ※行わない (11.2.1)	見本焼き	・ 行う ※行わない (11.2.1)		隅角部、突当たり部等の役物	※適用する ・ 適用しない (14.7.2)						
			ウレタン系塗膜防水 (X-1)の脱気装置	種類・ ・ ・ ・ ・ (9.3.2)	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	10 天然石	のみ込みとなる部分の仕上げ (粗面仕上げの場合) (10.2.1)(表10.2.1、表10.2.2)	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	表面処理	・ ・ ・ ・ ・ (14.7.2)(表14.7.1)						
			ウレタン系塗膜防水 (X-1)の脱気装置	種類・ ・ ・ ・ ・ (9.3.2)	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・	種類・ ・ ・ ・ ・														

15 左官工事	1 吸水調整材	製造所 監督職員の承諾する製造所 (15.2.2)	6 ステンレス製建具	寸法許容差 (W,H>2.0m、W×H>3.0m ² 、枠の見込み>120mmの場合) (16.5.4)(表16.3.3)	17 カーテンウォール	性能値 (17.1.3)	10 フローリング張り	フローリングの種類 (19.5.2、19.5.4~19.5.7)(表19.5.1、表19.5.3)	
	2 既製目地材	※使用する (形状) (15.2.2)	7 自動ドア開閉装置	表面仕上げ ※H.L.仕上げ (16.5.4)(表16.3.3)	カーテンウォールの性能	性能値 (17.1.3)		フローリングの種類 (19.5.2、19.5.4~19.5.7)(表19.5.1、表19.5.3)	
	3 セルフレベリング材塗り	(15.4.3)	8 建具用金物	曲げ加工 ※普通曲げ (16.5.5)	開閉方法 ※スライディングドア (16.6.2)	2 メタルカーテンウォール		金属材料の種類 (17.2.2)	フローリングの種類 (19.5.2、19.5.4~19.5.7)(表19.5.1、表19.5.3)
	④ 仕上塗材仕上げ	(15.5.2)(表15.5.1)	9 ガラス	※スライディングドア用自動ドア開閉装置の性能値 (16.6.2)	※スライディングドア用自動ドア開閉装置の性能値 (16.6.2)(表16.6.2)	2.2 カーテンウォール		金属材料の種類 (17.2.2)	フローリングの種類 (19.5.2、19.5.4~19.5.7)(表19.5.1、表19.5.3)
				※スライディングドア用自動ドア開閉装置の性能値 (16.6.3)	※スライディングドア用自動ドア開閉装置の性能値 (16.6.3)	2.3 カーテンウォール		金属材料の種類 (17.2.2)	フローリングの種類 (19.5.2、19.5.4~19.5.7)(表19.5.1、表19.5.3)
16 建具工事	1 見本の制作等	建具見本の製作 (16.1.4)	10 ガラスとめ材	スライディングドア、スライディングサッシの金物の種類 (16.6.3)	1 防火材料 (18.1.3)	② 素材ごしらえ (18.2.4)(表18.2.3)	11 壁紙張り	壁紙の種類 (19.8.2)	
	2 アルミニウム製建具	外部に面するアルミニウム製建具の性能等級 (16.2.2)(表16.2.1)	11 重量シャッター	スライディングドア、スライディングサッシの金物の種類 (16.6.3)	③ 防火塗料塗り (18.2.4)(表18.2.3)	3 防塵塗料塗り (18.2.4)(表18.2.3)	12 畳敷き	畳の種類 (19.9.2)(表19.9.1)	
	3 網戸	防虫網 (16.2.3)	12 軽量シャッター	ガラスの種類 (16.13.2)	4 撥水剤 (18.2.4)(表18.2.3)	4 撥水剤 (18.2.4)(表18.2.3)	13 カーペット敷き	カーペットの種類 (19.3.2)	
	4 鋼製建具	簡易気密型ドアセット (16.3.2)(表16.3.1)	13 オーバーヘッドドア	ガラスの種類 (16.13.2)	1 ビニル床シート (19.2.2)	1 ビニル床シート (19.2.2)			
	5 鋼製軽量建具	簡易気密型ドアセット (16.4.2)	14 障害物感知装置	ガラスの種類 (16.13.2)	2 ビニル床タイル (19.2.2)	2 ビニル床タイル (19.2.2)			
17 内装工事			15 木製建具	ガラスの種類 (16.13.2)	3 帯電防止床シート、床タイル (19.2.2)	3 帯電防止床シート、床タイル (19.2.2)			
				ガラスの種類 (16.13.2)	4 誘導用、注意喚起用床材 (19.2.2)	4 誘導用、注意喚起用床材 (19.2.2)			
				ガラスの種類 (16.13.2)	5 ビニル幅木 (19.2.2)	5 ビニル幅木 (19.2.2)			
				ガラスの種類 (16.13.2)	6 ゴム床タイル (19.2.2)	6 ゴム床タイル (19.2.2)			
				ガラスの種類 (16.13.2)	7 弾性ウレタン塗り床 (19.3.3)(表19.3.3)	7 弾性ウレタン塗り床 (19.3.3)(表19.3.3)			
18 塗装工事				ガラスの種類 (16.13.2)	8 エポキシ樹脂塗り床 (19.3.3)(表19.3.4~表19.3.7)	8 エポキシ樹脂塗り床 (19.3.3)(表19.3.4~表19.3.7)			
				ガラスの種類 (16.13.2)	9 セッコロボード、その他ボード及び合板張り (19.4.2)(表19.4.1)	9 セッコロボード、その他ボード及び合板張り (19.4.2)(表19.4.1)			
				ガラスの種類 (16.13.2)					
				ガラスの種類 (16.13.2)					
				ガラスの種類 (16.13.2)					
19 断熱工事				ガラスの種類 (16.13.2)					
				ガラスの種類 (16.13.2)					
				ガラスの種類 (16.13.2)					
				ガラスの種類 (16.13.2)					
				ガラスの種類 (16.13.2)					



既設のおそれのあるライン、9m

既設のおそれのあるライン、9m

フェンス H=1,000mm

フェンス H=1,000mm

フェンス H=1,000mm

フェンス H=1,000mm

フェンス H=1,000mm

フェンス H=1,000mm

フェンス H=1,000mm

フェンス H=1,000mm

フェンス H=1,000mm

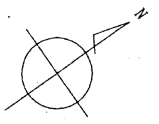
KBM、H=371.289m
 (敷地高低の単位=m(標高表示)
 (その他の表記 =mmとする)

仮設計画(参考)
 仮囲い66m+ゲート6m
 仮設事務所2400×5400(2階建て)
 下小屋2400×5400(2階建て)

前面道路(県道一之蔵山梨線、標準幅員13m、最大幅員16m)

県道三日市場南線(幅員12m)(北中学校西通線)

KBM、H=371.289m
 (敷地高低の単位=m(標高表示)
 (その他の表記 =mmとする)



工事名称	東山聖苑改修工事(建築)			番号	04
図面名称	配置図				
作図担当者	縮尺	作成日	修正日		
	1:400(A2)	2026/03/10			

仕上表

現況(改修前)	部分	改修
スチール400φSOP塗装(R3通りのみ腰柱)、スチール600φSOP塗装(R2通りのみ)	外部鉄骨独立柱	下地処理の上DP(フッ素、以下全て同様)塗装、 ※下地処理に関しては別途記載、 シーリング部分は打ち直し
配管用鋼管200φ(R3通り)150φ(R1通り)	壁樋	下地処理の上DP塗装、 ※下地処理に関しては別途記載
スチールSOP塗装	軒裏天井露出梁	下地処理の上DP塗装、 ※下地処理に関しては別途記載、 R3通りのみ鳥避け剣山W55設置
ケイ軽板6mm目透かし貼りVE塗装(R1通り、R3通りより外側は実付け貼り)	軒天	下地処理(一部劣化部分は補修)の上AEP塗装
スチールフッ素樹脂塗装	屋根破風金物	下地処理の上DP塗装、 シーリング部分は打ち直し
スチールフッ素樹脂塗装	屋根軒先金物	下地処理の上DP塗装、 シーリング部分は打ち直し
内部: 枠及び支持部材スチールSOP塗装	屋根、中庭トップライト	内部部材: 下地処理の上DP塗装、 ※下地処理に関しては別途記載、 外部屋根SUS水切り焼付けPL新設、 シーリング部分(ガラス押え外部含む)は打ち直し、 屋根既存雨樋清掃
床: アスファルト防水コンクリート押え、 立ち上がり壁: コンクリート下地アクリル弾性吹付	火葬棟屋上	床: 押えコンクリート伸縮目地部分清掃取替え、 集水器まわり: 改修用集水器取替え、集水器まわりウレタン補修、 立ち上がり壁: クラック部分補修下地処理の上弾性吹き付けタイル、 ハト小屋上部: ウレタン補修
壁: ALCの上吹付タイル、 丸柱: スチール240φSOP塗装、 化粧柱、屋根笠木幕板: スチールSOP塗装、 軒天: ケイ軽板AEP塗装	外部受付棟	ALC壁: 既存下地処理の上弾性吹き付けタイル、 化粧柱、屋根笠木幕板、独立柱、水切り: 下地処理の上DP塗装、 軒天: 下地処理の上AEP塗装
立面図による	外部建具	中庭等ガラリ: 下地処理の上再塗装、 建具まわり(トップライトはガラス押え共)シーリング打ち直し
既存鉄骨下塗り鉛含有塗料除去方法 ①下塗り塗料腐食部分: 剥離剤により上塗りも含めた腐食塗部分を除去する ②上塗り塗料の剥がれ及び腐食(下塗り部分は腐食していない)部分: 湿式(飛散防止のために散水)手作業ケレンにより除去 ③: ①②以外の部分は通常の軽研磨による下地処理 ①②の場合は以下の方法による: 作業区画シート養生、除去後被膜は専用保管を行い適切に廃棄物処理する、作業員の保護として、作業時には防護服(使い捨て)、防護マスク、手袋、保護メガネを着用		

外部建具リスト

記号	形状	サイズ		記号	形状	サイズ	
AD1	両開きドア	1800	2380	AW5	スリット付き片引き窓	800	3100
AD5	ガラリ付き両開きドア	2250	2380	WD21	自動ドア	1250	2400
AD8	片平きガラリドア	1800	2380	WD22	自動ドア	2000	2400
AW2	引き違い窓	1800	1200	AG2	ガラリ	800	2380
AW2	引き違い窓	1800	1200	AW10	引き違い窓	1990	1200
AG1	ガラリ	600	2380	AD4	片開き扉ドア	900	2380
AD5	ガラリ付き両開きドア	2250	2380	AW11	滑り出し窓	790	1280
AW3	FIX	1210~1325	2580	AW11	滑り出し窓	790	1280
AW4	FIX	2475	1300	AD4	片開き扉ドア	900	2380
AW15	排煙窓	2100	400	AW10	引き違い窓	1990	1200
AW13	FIX+片引き窓	15270	2100	AD7	ガラリ付き親子ドア	1900	2380
AW14	排煙窓	8700	400	AG2	ガラリ	800	2380
AW8	FIX+片引き窓	4380	2380	WD24	引き戸	2000	2400
AW9	FIX+片引き窓	5180	2380	ACW2	複合窓	8330	4300
AW9	FIX+片引き窓	5180	2380	WD25	引き戸	900	2400
AD3	片開き扉ドア	1200	2380	WD25	引き戸	900	2400
AD2	片開きドア	1200	2380	ACW1	複合窓	15470	4300
AD6	ガラリ付き両開きドア	2400	2380	WD24	引き戸	2000	2400
AW7	スリット付き滑り出し窓	600	4200	WD 23	両開きドア	1800	2,400
AW7	スリット付き滑り出し窓	600	4200	AD7	ガラリ付き親子ドア	1900	2380
AW6	スリット付き滑り出し窓	800	4200				
AW6	スリット付き滑り出し窓	800	4200				
AW6	スリット付き滑り出し窓	800	4200				
AW6	スリット付き滑り出し窓	800	4200				

